



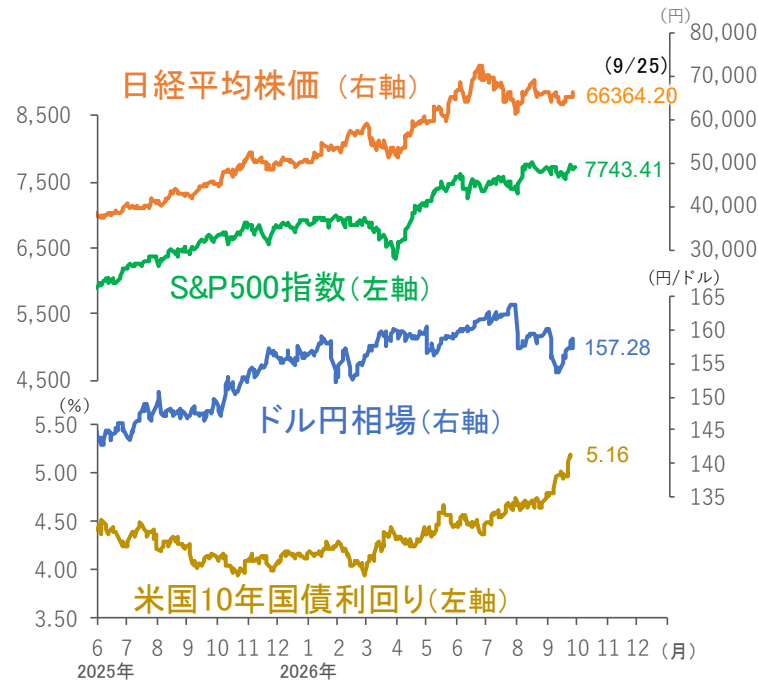
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.9.28

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、PMI（購買担当者景気指数）9月速報値などで景気の堅調さが示され、米利上げ観測が一段と強まり、世界的に長期金利が大幅上昇となりました。10年国債利回りは、米国が一時5.22%と07年6月以来の水準まで上昇、独は09年6月以来の高水準となる3.60%、日本は一時3.115%と約30年ぶりの水準に上昇しました。一方、株式市場は、金利上昇にもかかわらず、企業収益の高い伸びに対する期待を支えに買いが先行。S&P500指数は週間で+1.2%、ナスダック総合指数は同2.1%上昇し6月2日以来の最高値更新、独DAX指数は同+0.4%、日経平均株価は同+2.1%で終わりました。ドル円相場は米金利上昇で金利差が拡大し一時159円台を付けましたが、その後、トランプ大統領の円安牽制発言などを受けて一時156円台まで円が反発しました。

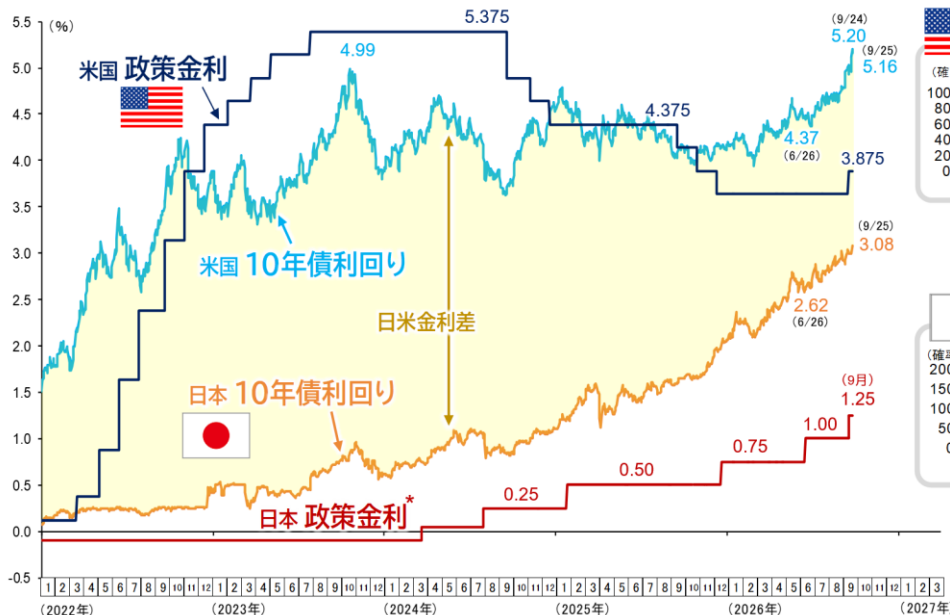
今週は、国内では日銀短観、米国では米雇用統計・PCEデフレーターを発表を受けて、10月会合での日・米追加利上げの観測が高まるか、注目されます。

当面の注目イベント

- ◆米・8月JOLTS求人件数 (29日)
- ◆米・8月コアPCEデフレーター (30日)
- ◆米・マイクロン・テクノロジー 6-8月決算 (30日)
- ◆日・日銀短観9月調査 (1日)
- ★米・9月ISM製造業・新規受注DI (1日)
- ◆米・9月雇用統計 (2日)

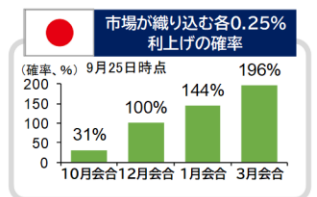
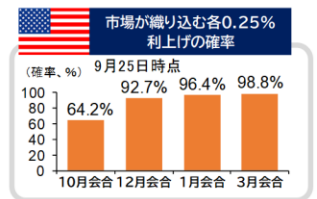
★：りそな景気先行指数関連指標

FF金利先物市場が織り込む0.25%追加利上げの確率は、10月FOMCが64%、12月は93%です。一方、国内金融市場が織り込む日銀の0.25%追加利上げ確率は、10月会合が31%、12月会合は100%まで高まっています



* 日本の政策金利：2024年3月19日までは日銀当座預金金利、2024年3月21日以降は無担保コール翌日物金利

【出所】ブルームバーグ、CMEグループ、東京短資株式会社の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成



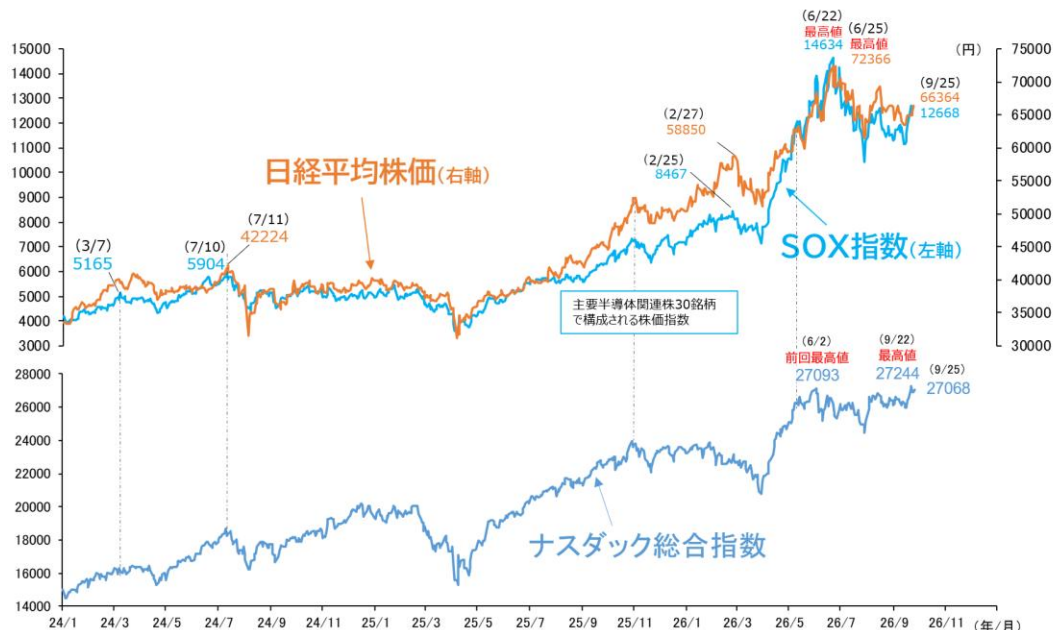
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

RESONA

ナスダック総合指数は6月2日以来となる最高値更新となりました。AI・半導体関連株が相場の牽引役となっており、半導体関連株の比重が高い日経平均株価は続伸、半導体SOX指数は4週連続で上昇しました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

長期金利の上昇にもかかわらず、株価が堅調を維持している理由として、収益見通しの上方修正で予想株式益回り（PERの逆数）が上昇し、10年国債利回りを上回る状態が維持されていることが挙げられます



【出所】LSEG、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年10月5日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。